

# 中国人は他民族と共存する能力なし

静岡大学教授

楊海英

ようかいえい



意外に思われるかも知れませんが日中戦争が終了した1945年まで、中国共産党はリベラルな少数民族政策を掲げていました。毛沢東の先輩にあたる共産党の初期の指導者だった陳独秀や李大釗らは「民族自決」を公言しており、少数民族の分離独立権を保証していたのです。何と「モンゴル、ウイグル、チベットが独立したくな

いのなら、独立するまで支援しましょう」という政策まで打ち出していたほどです。これは民族自決を認めていたソ連の政策にならったものでした。

ところで当時の中国共産党は、少数民族についてあまりよく知りませんでした。チベット人には共産党が中国南部から北部へ長逃（いわゆる長征）しているときに

究したのですが、その際に関東軍が作っていた内モンゴルについての報告書など、日本側の資料をぜひぶん読んでいたのです。

ところが日中戦争が終了して、共産党の態度は一変しました。毛沢東が1945年に「連合政府論」という論文を書いて、その中には「モンゴル、ウイグル、チベットと連合政府をつくる」と言い出した。それまでは独立を認める、ないし連邦を形成するということができたが、もう「連邦」すら言わな

くなりました。そして49年10月に中華人民共和国が成立しましたが、この年の春くらいから共産党の少数民族政策は急進的になり、「区域（地域）自治権を与える」というところまでトーンダウンしてきました。モンゴル人やウイグル人は「今まで共産党が言ってきたことは何だったのか。だまされた」と受け止めました。

47年5月にはすでに「内モンゴル自治政府」が成立していました。その自治政府のトップだったウーランフーは、中国共産党によってソ連のような連邦国家ができた暁には内モンゴルが自治共和国になると見込んでいたのですが、実際はそうならなかった。ソ連と違って、中国では少数民族の地域は自治区という形になってしまいました。毛沢東は35年の段階で内モン

ゴルに対し独立の「空手形」を切っていましたから、モンゴル人はますます「だまされた」と思ったわけです。

実は内モンゴル自治政府がいつ中国の自治区になったのかの公文書が公開されておらず、その時期が不明なのです。中国共産党の常套手段で、いつの間にか自治区にしてしまうのです。

## そもそも中国の一部なのか

新疆では1944年に東トルキスタン共和国が成立していますがこれはウイグル人、カザフ人、モンゴル人からなる社会主義国で、指導者の多くはソ連留学経験者でした。彼らは中国から独立して、特に遊牧民であるカザフ人、モンゴル人は内モンゴルおよび当時の

楊海英氏 1964年、中国・内モンゴル自治区生まれ。北京第二外国語学院大学日本語学科卒業。2000年に日本に帰化し、06年から現職。19年、正論新風賞受賞。『墓碑なき草原―内モンゴルにおける文化大革命・虐殺の記録』など著書多数。近著に『独裁の中国現代史』。

モンゴル人民共和国と一緒に  
たかったのです。そうすると、ソ  
連のシベリア地方にあったブリヤ  
ート・モンゴル自治共和国も加わ  
りかねない。ソ連から見れば、ま  
さに「大モンゴル帝国」の復活で  
スターリンとしては容認できず、  
阻止に回った。それでヤルタ協定  
の結果もあり、内モンゴルは中国  
に、新疆も中国のものになってし  
まったのです。

もともとこの地域は清朝の乾隆  
帝が1759年に占領して新疆  
（「新しい領土」という名前を付  
けたもので、ロシアの東進を食  
止めようと清朝は1884年に新  
疆省を設置しました。名前からし  
て新しい領土なのであり、歴史的  
に中国の一部といえるかどうか、  
非常に微妙です。

チベットも同様に、19世紀末か

後も中国による苛烈な少数民族弾  
圧が続くことになるのです。

### 屈辱から少数民族を弾圧

45年以降、中国共産党が強圧的  
な少数民族政策を採るようになって  
た背景としては、漢民族ナショナ  
リズムが挙げられます。

清朝では300年近く、漢民族  
は満州人とモンゴル人に支配され  
てきました。漢民族からすれば、  
皇帝は満州人、それを支える軍事

ら20世紀初めにかけてダライ・ラ  
マ13世が清朝からの独立を試みま  
した。1911年に清朝が崩壊す  
ると、13世は独立を宣言します。  
そして当時のモンゴル国と外交関  
係を持ち、国際条約も結んでいま  
す。米英両国はどうかやら中華民国  
に期待していたようで、チベット  
を国として承認しませんでした。

しかしその後、米英両国も中華民  
国もチベットに構っている余裕が  
なくなり、第2次世界大戦後まで  
チベットは存続します。

1951年になって、毛沢東政  
権とダライ・ラマ政府との間で、  
チベット平和解放のための協議が  
結ばれます。その合意事項の内容  
についてはチベット側と中国共産  
党側で見解の相違があり、ダラ  
イ・ラマ14世は自伝の中で「私は  
押印していない。中国が偽の印を

押したのだ」と主張しています。  
一応、平和的な合意が結ばれた  
ものの、人民解放軍がどんどんチ  
ベットの領域に入ってくるので、  
59年に中心都市ラサでチベット人  
が武装蜂起し、ダライ・ラマ14世  
はインドへ亡命することになりま  
した。

このとき、内モンゴルの騎馬軍  
がチベット人の鎮圧に当たってい  
ます。中国の「夷を以て夷を制す  
る」政策が行われたのです。そし  
て中国による大虐殺が行われ、チ  
ベットの人口は10年で30万人ほど  
も減ってしまいました。地域によ  
っては男性がほぼ皆殺しにされた  
といわれています。

内モンゴルはいつの間にか自治  
区にされ、新疆は55年に自治区と  
なり、チベットは65年に自治区と  
されてしまいました。そしてその

力を持っているのはモンゴル人、  
そして精神的にはチベット仏教に  
支配されていたわけで、この3民  
族に支配された屈辱の300年と  
いう思いがあるのです。そこで、  
この3民族には軍事力を与えず、  
文化も破壊し、生存空間も狭め、  
最終的には漢民族に同化させる政  
策を採っているわけです。つまり  
屈辱感、恨みが原因なのです。  
習近平氏は「屈辱の1000年」  
ということを言っています。これ  
はアヘン戦争以降、西洋列強と日

本に支配された1000年というこ  
とですが、それに加えて対内的に  
は満州人・モンゴル人・チベット  
人に支配された300年がある。  
ですから漢民族のナショナリズム  
には2つあって対外的には反日、  
対内的には反満州・モンゴル・チ  
ベットなのです。しかし満州族は  
中国にかなり同化されてしまい、  
内モンゴルもあまり力がない。そ  
こで中国は残ったチベットとウイ  
グルに対して激しい弾圧を加えて  
いる、これは長年の屈辱感の裏返



(タテ・ヨコ15mm)  
バッジあっせん  
500円/1個  
(送料込)

自らの国は、  
自らの手  
で守ろう!

参加歓迎  
会費 一般 2千円  
学生 1千円

## 国防問題講演会(会場)ホテルグランドヒル市ヶ谷

4月10日(水)15時~16時30分

【講師】元東部方面総監 渡部悦和  
【演題】「米中覇権争いと日本」

5月15日(木)15時~16時30分

【講師】拓殖大学大学院特任教授 濱口和久  
【演題】「民間防衛と  
緊急事態への対応」

【年度】(年)1万円
【永年】10万円
【法人】(年)5万円

www.kokubou-league.com/  
公益財団法人 日本国防協会  
理事長/赤星 慶治(元海上幕僚長)  
〒162-0842 東京都新宿区市ヶ谷3-1-3 コーポビル市ヶ谷73  
☎03-5229-5866 FAX03-5229-2050

しなのです。

なぜウイグル人まで恨まれるのかといえば、漢民族は古くは匈奴の時代から異民族には負けつ放しだったのです。漢民族の歴史は、2千年に及ぶ屈辱の歴史でもありません。そうしたことから漢民族には「あいつらは野蛮人。俺たちは戦争は弱いけれど文明人だ」という歪んだ心理が生まれてきたのです。近代になるとその「野蛮人」に西洋列強と日本が加わります。

日本の存在は、漢民族のナショナリズムをいたく刺激しました。彼らからすると、日本は古くから中国文明の下風にあった「東夷ではないか」というわけです。それが明治以降、戦争も強くて中国を荒らし回るし、近代化もなし遂げている。もう漢民族からすれば悔しくてならないのです。

そしてこの積年の恨みが、中華

人民共和国の建国後、文化大革命という形で爆発します。1966年に内モンゴルで文化大革命が始まると、34万人が逮捕され、少なくとも2万7000人が殺されました。これは、モンゴル人が戦前・戦中に日本人と結託したことに対する「制裁」なのです。

ソ連の影響が色濃く残っていた新疆では、50年代後半から「反右派闘争」が始まり、親ソ連派のウイグルの知識人が粛清されていきます。チベットでは65年の自治区設置以来、ずっと虐殺と宗教弾圧が続けられています。

中国共産党はこうして少数民族のエリアートを肅清し民衆を虐殺するだけでは満足せず、徹底的に少数民族を同化させるべく各自治区の漢民族との人口を逆転させよう

としています。内モンゴルではす

で、漢民族はモンゴル人の10倍近くに達しているとみられます。新疆でもウイグル人より漢民族のほうが多くなっているはずですがチベットも同様です。このように漢民族をどんどん送り込んで、少数民族には母語の使用を禁止して、学校では中国語教育を強制していくのです。

そして各民族の経済をも中国経済に変えられています。内モンゴルであれば遊牧生活していたモンゴル人を定住させ農耕させるのですが、モンゴル人は歴史的に農耕に不慣れですから漢民族の農民より所得が低く、貧困化していくこととなります。

新疆では、ウイグル人は昔から農耕民族で、その技術も漢民族より優れていたのです。そこで漢民

族は、ウイグル人を農耕に適したオアシスから追い出して、そこに居座って農業をするのです。中国は新疆に200万人以上の漢民族を「生産建設兵団」として送り込みました。彼らは武装農民ですからウイグル人はとうてい太刀打ちできません。チベットでも牧畜民が定住させられ、漢民族とチベット人女性との混血も進められ、ダライ・ラマ14世の言葉ですが「文化的ジェノサイド（虐殺）」が行われていったのです。

## あり得ない「平和共存」

中国共産党の少数民族抑圧政策は毛沢東以来、一貫しているといえますが、習近平になって一層、ひどくなっています。江沢民時代には「西部大開発」という政策が

打ち出され、内モンゴルも西部だということでも漢民族が大挙、押し寄せてきました。そもそも、この政策は米国の西部開拓のマネなのですが。

江沢民から胡錦濤、習近平と指導者が代わるたびに、少数民族への弾圧は悪化の一途を辿っています。最近では、チベット自治区にはほとんど外国人は立ち入れなくなっています。新疆ではイスラム教が完全に否定され、100万人規模のウイグル人が「再教育施設」に収容され、イスラム教で禁じられている豚肉を食べることまで強制されています。

近年は少数民族に対してだけでなく、中国共産党の矛先は香港や台湾にも向けられています。鄧小平が実権を握っていた時代には、「香港には高度の自治を与える」

といわれており、私などは当初、「漢民族は同胞には優しいのだ。われわれは少数民族なので同化・虐殺の対象になるのだ」と思ったものでした。しかし、香港が中国に返還されてからは、状況は悪化の一途を辿っています。

習近平体制になってからは、香港の書店の店主が中国国内で拘束されるような強権的なことも行われるようになってきました。それに対する反発も当然あるわけで、最近では香港の人たちは「自分たちは漢民族ではなく、香港人だ」という主張も出てきています。

私は1990年代から、研究などで台湾や香港に行く機会があり当時から「あなた方、いつかは私たちモンゴル人のようになりませんかよ。香港の『高度の自治』なんて守られるはずはありません

よ」と警告してきました。香港の方々は樂觀視していましたが、現在の香港はどうなっていますでしょうか。

そうした香港の状況を見ているので、台湾は「一国二制度などという甘言にだまされるわけにはいかない」と、蔡英文政権は中国に飲み込まれないよう頑張っているわけです。香港で本当に「高度の自治」が守られていたならば台湾の人々も中国の呼びかけに動揺したでしょうけれども、香港の惨状を見てしまった以上、台湾の人々は中国の言うことを素直に聞くわけにはいかないでしょう。

そもそも、台湾が中国の一部だというのは無理があります。台湾にはもともと南洋系の原住民がいますし、スペインが来たりオランダが支配したり、日本人も昔

から台湾を経由して東南アジア方面に行っていたのです。別に昔から漢民族だけが住んでいた土地ではありません。

ところで『独裁の中国現代史』（文春新書）にも書きましたが、中国人には他民族と共存する能力がありません。中国の歴代王朝は少し強くなってくると必ず周辺地域を侵略していました。真つ先にその被害を受けるのが朝鮮半島でした。それからインドシナ半島方面です。西と北には強力な遊牧民族がいましたから、なかなか進出できなかったのです。

現在の中国は東シナ海や南シナ海に進出しています。やはり西や北には行きにくいのでしょうか。そして国境がきちんと定められた現代においては白昼堂々と攻め込むわけにはいきませんから、形を変

米国は中国の言うことを聞かないでしょうから。

中国は対外的には「中日友好」「中韓友好」などと言います。そして対内的には「民族団結」と言います。モンゴル人・チベット人・ウイグル人よ団結しよう、というわけですが、この団結というのも「少数民族は漢民族のいうことを聞け」なのです。中国では各民族は決して平等ではありません。

中国共産党の当初の民族政策は「民族平等」と「民族団結」でした。平等の前提のもとで団結しよう、ということ、モンゴル人も納得していました。ところが次第に「民族平等」がどこかへいつてしまいました。今、漢民族は堂々と「われわれは12億人。なぜ数億万人しかないあなた方と平等な

のだ」と言うのです。心の底では「自分たち文明人がなぜお前たち野蛮人と平等なのだ」と思っている。中国人は日本人に対しても中日友好と言いながら「東夷の、小日本の分際で」と思っているはず

### 台湾に狙い定める習近平

ところで現在、中国は台湾の併合を狙っていて、米国が態度をハッキリさせないと台湾は危ない、と私は思っています。

習近平は憲法を改正してまで終身的な権力を手に入れました。あとは、後世に残る手柄を立てたいはず。例えば毛沢東には「建国の父」という業績があり、鄧小平には改革開放を成功させた業績があり、江沢民には西部大開発の

えた属国化を図るわけです。「一帯一路」政策で、ラオスやタイやミャンマーなどの国々を借金漬けにして、自分の勢力下に入れていく。ですから一帯一路というのは昔の武力行使の現代版だといっているでしょう。

中国には平和共存という発想がありません。天下唯我独尊というのが中華秩序で、自国が中心にあつて周辺国が朝貢にやってくるというのが伝統的な中国の国際秩序なのです。

それだけに「日中友好」なる文句も「中国のいうことを聞け」ということに他なりません。例えば産経新聞は中国に批判的だからというよりも、中国のいうことを聞かないから「日中友好に反している」となるわけです。だから「米中友好」というのはあり得ない。

業績がある。そうした先人を超えるたい、と考えたときに唯一、残っているのが台湾問題なのです。そこで手柄を立てようと習近平が冒險する危険性は、非常に高いのではないのでしょうか。

台湾側にはその危機感が非常に強いですが蔡英文さんも先日、産経新聞を通して日本との安保対話をしたいとの意向を示したので。そうした状況ですから、日本も米国同様、きちんと台湾についての態度を表明したほうがいいと思います。多くの人が指摘している通り、台湾は日本の生命線であり、台湾が失われれば日本のシーレーンが断ち切られてしまうことになり。安倍首相は最近、少し中国と仲良くしすぎているように、私は若干、心配しています。

プ大統領に北朝鮮問題に取り組むだけの時間と余裕を与えるということであれば問題ないのではないのでしょうか。金委員長に何らかの働きかけをする余裕を大統領に与えられるのであれば、我々は甘受しなければいけないのだと思います。

### 韓国の「反日」は長続きしない

——トランプ大統領は海外に駐留する部隊にかかるコストの削減を重視していますが、その矛先が在韓米軍のみならず在日米軍に向きかねないことを懸念します。アメリカの世界戦略にとって在日米軍の重みは在韓米軍よりさらに大きいと思いますが。

ニコルソン 在韓米軍と在日米軍のどちらがアメリカにとって重要かという比較論は無意味だと思います。なぜか。両方とも重要だからです。逆にトランプ大統領の考え方、発言は非常に総論的です。例えばNATO（北大西洋条約機構）についても全体をとらえて、GDP（国内総生産）比に対して国防費が少ないのではないかと言っています。

ます。当然、多くのNATO加盟国の国防費はGDP比で2%という数値を超えていませんが、個別にみると比率が上がっているケースもあります。部隊の派遣についても、大統領はどれだけの兵力をどの地域に配置するのか、どのような理由でそれは正当なのかなどといったことについて疑問を投げかけているのです。では在日米軍の規模は削減されるのかといえば、当然、削減されるべきではないと思います。米海兵隊については20年前から話し合われていたものがいま、現実化していません。それ以上のことは何も話し合われていないし、個人的には削減というようなことは懸念しておりません。

——対北朝鮮では日米韓の連携が極めて重要です。ところが韓国軍艦船が自衛隊の哨戒機にレーダー照射する事件が起きました。どのように受け止めていますか。

ニコルソン レーダー照射案については非常に懸念しています。当然、東アジアの安全保障において日韓関係というのは非常に重要であり、政治的な意図や目的によって問題が炎上されている

それ行け!

# 天安閣

Gouda Yoshiie No.72  
業田良家

桜国にある  
団地を視察に  
きたっぺ



大華国人が  
たくさん住んでるのよ



天安閣。大華国の元主席。40年間の眠りから覚め活躍中。

## 多文化共生団地



こんにちは

こちらが団地の  
自治区会長  
ヤスベさん

私たちの団地は  
「多文化共生」を  
目指しています

先日 国からも  
表彰されました♡



自治区じゃなくて  
自治会長です

桜国の  
総理に  
顔が似て  
るよね

「たぶんかきようせい」  
って何だっぺ?

他文化を  
強制する  
ことよ

共生  
ですーっ



明明。天安閣の妻。



しんざんへい

集金平。大華国のNo.2。



アンベ首相。大華国に困惑する桜国のリーダー。

### 人口比率



桜国住民は老人ばかりでさびれる一方だったんですが



この賑わいを見てください

今では住民の50%が大華国人です



南ゴルモン自治区の人口比率は？

ゴルモン人20%  
大華国人80%よ



もうすぐだっぺ

何がですか

### ゴミ出し



以前はゴミ出し等でトラブルが多かったと聞いたっぺ



今ではこの通りきれいにしてくれます



おっと



皆さん投げられるのが上手になられて

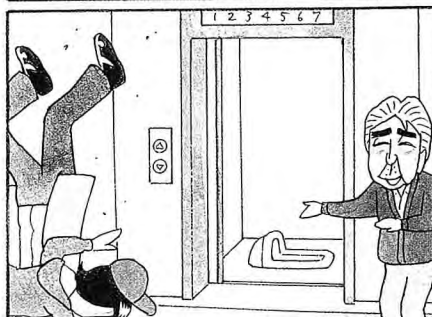
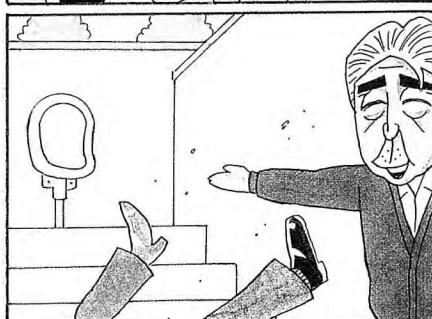
### 「共生」の力



エレベーターや階段の踊り場で大小便をする奴もいたと聞いたっぺ



そこは「共生」の力で乗り越えました



### 団地の憲法



商店街は大華国人のお店ばかりになりました



こんなに急に他国の人間が増えたら不安じゃないっぺか？



わが団地には憲法がありますから



前文に「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」とありますから

たかが団地の決まり事なのに「戦争の放棄」まで書いてあるっぺ

天安門にまで心配されるとは...